

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山市立上道中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒709-0632

岡山県岡山市東区南古都714

E-mail jotoc@city-okayama.ed.jp

Website http://www.city-okayama.ed.jp/~jotoc/

幼児児童生徒数 男子 224名 女子 197名 合計 421名

幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

本校は、「一人ひとりの生きる力を養い、自立する生徒を育成する」を学校教育目標に、地域との関わりを深め、上道地区の将来を担う人材を育てることを本校のミッションとして位置づけ、本年度学校教育活動に取り組んでいる。その中で『地域を愛し、地域に愛される生徒』～学ぶ・防災・貢献～をESDの活動テーマとして学習活動に取り組んでいる。

具体的には、次の3本柱を中心に中学校3年間の学習活動とボランティア活動などを通して、ESDの活動に取り組んでいる。

①〈地域を学ぶプロジェクト〉

- ・5小学校区を中心に地域を知る
- ・地域の産業などの特色を知り、職場体験学習につなげる。
- ・地域の課題を知り、地域の一員として課題に取り組む姿勢を養う。

②〈地域防災プロジェクト〉

- ・防災に関する基礎的な知識を身につける。
- ・災害時に中学生として何ができるかを考え、助け合いの重要性を理解する。
- ・学習成果を地域に発信して地域の防災に参画できる力を育む。

③〈地域貢献プロジェクト〉

- ・地域のボランティアや行事に積極的に参加して地域社会の一員として、できかつ主体的に行動できる力を養う。

①〈地域を学ぶプロジェクト〉に係わる活動

地域の産業を知り、職場体験学習や進路学習につなげる活動を行った。今年度の3年生は、第1学年で、小学校区の紹介を行い、第2学年では、地域の産業の特色を学習した上で職場体験学習を行うなど、中学校3年間で学習がつながっていくことを計画的に学習している。

②〈地域防災プロジェクト〉に係わる活動

1年次には、福島県での震災後のボランティアに参加した方に講演を行っていただき、公民館と協力して、災害時に自分の意思表示を行う「クロスロード」や時間経過と自分の行動を考える「目黒巻き」などを行い、災害時への備えを学習した。

2年次には、危機管理室の救命士の方に講演を行っていただき、災害時の行動などについて学習した。2年生は来年度の修学旅行で、熊本県に伺う予定にしており、今年度の学習を修学旅行につなげたいと考えている。

③〈地域貢献プロジェクト〉に係わる活動

3年生は、修学旅行で1年生の時から学んだ、地域学習を生かす活動を行った。その1つが、岡山県の魅力をまとめたカードを作成し、それぞれの生徒が民泊先で、岡山の魅力発信を行った。民泊を通して他地域を知り、改めて自分の地域を振り返る学習となった。

また本校では、地域のボランティア募集を積極的に受け入れ、生徒が責任を持って積極的に参加できるように地域との連携を図っている。生徒のボランティア活動も、年々活発になってきている。

※チェック事項1-1、2-1に対応

① 〈地域を学ぶプロジェクト〉に係わる活動



①の写真（職場体験学習）

② 〈地域防災プロジェクト〉に係わる活動



②の写真（クロスロード）

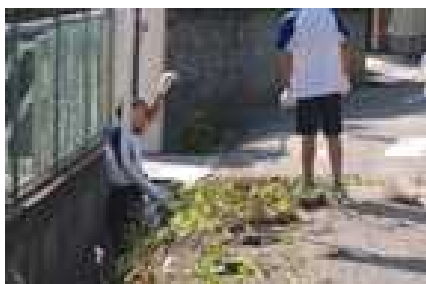


②の写真（目黒巻き）



②の写真（講演会）

③ 〈地域貢献プロジェクト〉に係わる活動



③の写真（清掃ボランティア活動）



③の写真（修学旅行民泊先にて岡やMを紹介した次の日）



③の写真（読書ボランティア地域の小学校へ）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野 (複数選択可)

| | | | |
|--|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 環境 | <input type="checkbox"/> 2. エネルギー | <input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災 | <input type="checkbox"/> 4. 生物多様性 |
| <input type="checkbox"/> 5. 気候変動 | <input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性 | <input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産 | <input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉 | <input type="checkbox"/> 10. 食育 | <input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費 | <input type="checkbox"/> 12. 貧困 |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク | <input type="checkbox"/> 14. ジオパーク | <input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED) | |
| <input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等 | <input type="checkbox"/> 17. その他() | | |

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

| | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度 | <input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度 | |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入) | |

ウ. 活動時間 (複数選択可)

| | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等 | <input type="checkbox"/> 4. クラブ活動 |
| <input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述) | |

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

| |
|-----------|
| 文部科学省HPほか |
|-----------|

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200~300字程度) ※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

| |
|--|
| 本校では、ESDは学校教育目標を達成するための重点的な取り組みの1つとして、4つの柱の1つととらえている。主には総合的な学習の中での実施としているが、関連する内容があれば、教科の学習で取り上げるように心がけている。また中学校3年間の学習で段階的・発展的につながるように、3年間の見通しを持った学習計画を心がけている。地域学習・防災学習・平和学習・人権学習・進路学習とも関連づけながら学習を進めている。昨年度3年間での学習内容が一通り回ったため、今後の学習内容の精選や発展を考えていく時期になっている。 |
|--|

③学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項1-4に対応

総合的な学習の担当者や生徒会の担当者などを中心に、ESDの活動を運営するようにしていることで、学校行事とのつながりがスムーズにできている。また、地域のボランティアの募集などを、ESDの担当者がまとめて扱うようにしてボランティア活動が行いやすい環境づくりを行っている。

③ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題(200字程度) ※チェック事項1-5に対応

昨年度卒業した学年が第1学年から継続して3年間学習することが終わったので、今後どのように活動を行っていくかを考える時期となっている。学校活動の評価としては、地域からは、ボランティアに参加する生徒が増えてきたことを評価して下さる声が多く、学校行事にも理解をしてくださっている。しかし一方でESDの活動を行っていく中で、ボランティアのとりまとめや、当日の教員参加など、教員の負担が増えたなどの声も上がってきているので、活動を継続しつつ、負担を減らしていくことが今後求められている。

④ ESDの推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項2-2に対応

本年度は、本校の生徒がESDパスポート発表会に参加させていただき、本校の活動を広く発信することができた。
また3年生が修学旅行先で、岡山の情報発信を行うことができ、他地域との交流ができたことも大きな成果である。
これらの活動を通して、生徒には他者にどのように伝えるかを考えるきっかけになった。一方で今後のESDの取り組みにどのようにつなげていくかがこれからの課題である。

⑤ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)(200字程度) ※チェック事項2-3に対応

本年度は主に、公民館との連携によって防災学習を行った。昨年度本年度と2年間に渡って1・2年生の防災学習では、公民館と連携して、講師をお願いして、活動を行った。フィールドワークなども行っているが、今後は、学校外との連携をどこまで広げていくかが、検討課題である。

⑥ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成
(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

これまでの本講のESDの学習では国内外のユネスコスクールとの交流やネットワーク形成は行っていない。本講の活動テーマが「地域を愛し、地域に愛される生徒」であるので、まずは地域とのつながりに重点を置いて活動してきたためでもある。今後どのような形で交流やネットワークを形成していくかは来年度以降の検討課題である。

⑦ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)
(200字程度) ※チェック事項 2-5 に対応

1つは、生徒がより積極的に地域の行事やボランティアに参加し始めたことである。はじめは少数だった参加者が増えてきていることは大きな成果といっても良い。

2つめは、地域の方が学校行事により理解を示して参加をしていただけるようになってきている点も大きな変化である。今後は、生徒が大人になったときに地元である地域に戻ってきて、地域へ参画する人材になり得るかは数年後の成果として期待したい。

(3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

基本の3本柱は、そのまま、今後は各学年でこれまでの流れを振り返り、学習内容の精選や新たな取り組みをどのように入れていくかが課題である。活動テーマはこれまでと同じ「地域を愛し、地域に愛される生徒」で取り組み、地域学習・地域防災は変わらず行っていく予定である。

地域貢献は、「どのように地域に貢献していくか」が、中学校3年間では見えにくいため、今後どのような地域貢献をしていくか、中学校3年間で成果を出していくかが検討課題である。

基本は総合的な学習の時間を柱としつつ、教育活動全体で学習していけるよう、教科也特別活動との連携を計画的に実行できるようにしていきたい。

また中学校3年間を見通した学習となるよう、各学年でどのような学習内容を行うか、見通しを持った計画を立てるようにしたい。

〈参考資料〉

平成29年度の総合的な学習の時間での動き

→平成30年度では、平成29年度の活動を基本に、新たな内容などを今後検討していく予定である。

| 1年 | 2年 | 3年 |
|--|---|--|
| <p>1学期</p> <p>地域を知る 閑谷研修 ・友だちとのつながり ・地域の歴史を体感する 進路学習 ・自分の将来を考える</p> <p>2学期</p> <p>上道祭に向けて ・うらじゃ（地域の祭） ・地域との連携 地域学習 ・防災学習 進路学習 ・職業調べ</p> <p>3学期</p> <p>広島研修に向けて ・戦争と原爆（平和） 進路学習</p> | <p>1学期</p> <p>広島研修に向けて ・戦争と原爆（平和） 地域調べ ・地域の職業を知る ・職場体験学習の準備 進路学習</p> <p>2学期</p> <p>上道祭に向けて ・うらじゃ（地域の祭） ・地域との連携 職場体験学習（進路学習） 防災学習 ・防災への備え</p> <p>3学期</p> <p>修学旅行に向けて ・戦争と原爆（平和） ・九州について学ぶ （他地域を知る） ・人とのつながりを学ぶ （関わりを学ぶ） 進路学習</p> | <p>1学期</p> <p>修学旅行に向けて ・戦争と原爆（平和） ・外国とのつながり （多文化共生） ・震災への取組（防災） 進路学習</p> <p>2学期</p> <p>上道祭に向けて ・うらじゃ（地域の祭） ・地域との連携 進路学習 ・地域につながる人材育成</p> <p>3学期</p> <p>地域貢献 ・地域への貢献 進路学習</p> |
| <p>☆年間を通して行うこと ①あいさつ運動（毎月第2週） ②ボランティア活動</p> | | |